

組織の概要

市民・事業者・団体と市が連携・協力して、環境問題の改善に向けた実践・啓発活動に取り組み、持続可能な社会の実現をめざしたまちづくりを推進することを目的として、平成22年7月16日に設立しました。また平成24年3月に策定された東広島市環境基本計画において、エコネットひがしひろしまは市民・事業者の取組みの推進や進捗の評価を行う組織として位置付けられています。

具体的な活動内容は、エコクッキングの開催や環境・温暖化問題に関する出前講座、農業体験、簡易な省エネ診断、各種イベントへの出展など、地球温暖化対策にとどまらず幅広い活動を行っています。

2021年の主な活動

第4回脱温暖化キャラバンIN豊栄 ～里山ネイチャーデイキャンプ～

7月31日（土）に東広島市豊栄町清武の小石川観光りんご園と隣接する「生活の森」（兼平氏所有）でエコネットひがしひろしま主催の「第4回脱温暖化キャラバンIN豊栄～里山ネイチャーデイキャンプ～」が開催されました。

東広島市は山陽本線沿線を中心にベッドタウンとして人口が増え、都市化しています。自然豊かな本市ですが、こどもたちが自然の中で遊ぶことも少なくなっているのが現状です。そこで今回の脱温暖化キャラバンは「こどもたちに東広島の自然を満喫してもらおう」というテーマで企画をしました。

当日は市内各地からたくさんの方にご来場いただき、竹の水鉄砲やぼっくり下駄を作ったり、昆虫採集をしたりするこどもたちの姿もありました。昆虫の標本展示も好評でした。

アウトドア用品コーナーでは、サウナテントの体験で心地よい汗を流し、また、りんご園では薪割りと、その薪をピザ窯に投入しピザを焼く体験コーナー、アロマ虫除け作り、無料サービスのかき氷を楽しむ来場者で賑わいました。

【取組みの展開】 1-1-2



小石川観光りんご園会場



生活の森会場での竹の水鉄砲づくり



サウナテント展示&体験



自然のクーラー木陰でデイキャンプ

エコツアー（環境フェア会場↔エコパーク会場）

10月24日（日）に「ひがしひろしま環境フェア」と「エコパークオープニングイベント」が両会場をバスで結んで、連携開催されました。エコネットひがしひろしまでは両会場にブースを設けました。

環境フェアの会場では、ブースを設け、活動紹介やLINE友だち登録を呼びかけるなど、団体のPRをしました。また、エコパーク会場で上映する「プラスチックの海」への案内も行いました。



LINE登録した方には、豊栄の小石川観光りんご園のりんごを来場者プレゼントとして用意しました。

エコパーク会場では映画「プラスチックの海」を上映し、多くの方に海洋プラスチックごみの生態系に対する影響を知っていただく機会になりました。

団体会員「ひがしひろしまモバイルミュージアム」にもご協力いただき、「飲料容器の博物学」としていろいろな容器を展示し、3Rの関係性を解説してもらいました。

【取組みの展開】

3-2-1, 2-1-1, 2-1-2



映画「プラスチックの海」を上映



「飲料容器の博物学」



「飲料容器の博物学」



～プラスチックの海～
マイクロプラスチックによる海洋汚染の実態を描いたドキュメンタリー映画。年間800万トンものプラスチックが海に捨てられ、海洋を漂う。食物連鎖の一部となることで生じる、海や生物・人体への影響を明らかにする。レオナルド・ディカプリオが製作総指揮を務めた。



ソーラーシェアリング見学会～先進事例視察～

11月4日（木）※コロナ感染予防のため人数を制限して実施。

参加者：18名（広島大学と呉工業高等専門学校の学生8名を含む）

【現地見学】

わくわくソーラーシェアリング・ファーム

（有）マネーコンサルジェ（東広島市高屋町高屋堀1538-5）

【講演】 高屋西地域センター（東広島市高屋町杵原1316-1）

【講師】 重家雅文氏（わくわくソーラーシェアリング・ファーム）

小倉亜紗美氏（呉工業高等専門学校、エコネットひがしひろしま顧問）

営農型太陽光発電システムについて学ぶため、平成28(2016)年1月から稼働している「わくわくソーラーシェアリング・ファーム」を見学し、脱炭素化に向けた新しいシステムについて学びました。

営農型太陽光発電とは・・・ソーラーシェアリングとも呼ばれ、太陽光を農業生産と発電とで共有する取組みです。作物の販売収入に加え、売電による収入や発電電力の自家利用により、農業者の収入拡大による農業経営のさらなる規模拡大や6次産業化の推進が期待されており、近年注目されています。



見学の後には、ソーラーシェアリングによる発電量や経済的な支援制度(FITの特例)について重家氏に講演していただきました。遮光率を33%以下にすれば、太陽光を必要とする作物であっても、ソーラーパネルの下で育てることができるということが分かりました。続いて、エコネットひがしひろしま顧問の小倉氏による、太陽光パネル、蓄電池、電気自動車を併用した自宅のエネルギー収支の報告もあり、脱炭素に向けて一人ひとりができることについて考えるいい機会となりました。

【取組みの展開】 2-2-1, 2-2-2, 2-2-3



2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

- 脱温暖化キャラバン
- 自然体験イベント
- 環境フェアなどのイベントへ参加
- 会員の交流会

《所在地・連絡先》

〒739-8601

広島県東広島市西条栄町8番29号
エコネットひがしひろしま事務局

(東広島市役所生活環境部環境先進都市推進課内)

TEL 082-420-0928

ホームページ <https://hgh-eco.net/>

E-mail go.eco.me@gmail.com



ホームページ



LINE

組織の概要

私たちは、酒づくりの文化や産業を育んできた水をいつまでも享受し、美しいふるさとを次の世代に手渡すことを使命として、森、川、池、田畑など、山と水を取り巻く環境の保全・育成に寄与することを目的としています。

そのために、市内の企業、学校、団体、市民の方々に参加いただき、下草刈りや除伐など山の手入れ作業を行い、また、水質、水量、土壌、植生などの調査研究活動や環境学習などの支援を行っています。



2021年の主な活動

山のグラウンドワーク

3月7日（日） 参加者 84名（スタッフ含む）

【場所】 憩いの森公園内の森林

【内容】 憩いの森を水源とする酒づくりのための地下水保全を目的とした里山整備を行いました。

【取組みの展開】 1-1-1, 1-1-2, 1-1-3, 1-3-1, 3-3-1

シンポジウムの共催「第7回公開シンポジウム 地域と環境の持続性ー酒都西条ー」

7月31日（土）

【場所】 広島大学総合科学部

【内容】 西条・山と水の環境機構20年間の取り組みを振り返りつつ、地域と環境の持続可能性について議論しました。

【取組みの展開】 3-1-1

山のグラウンドワーク

8月8日（月）参加者 119名（スタッフ含む）

【場所】 憩いの森公園内の森林

【内容】 憩いの森を水源とする酒づくりのための地下水保全を目的とした里山整備を行いました。

【取組みの展開】 1-1-1, 1-1-2, 1-1-3, 1-3-1, 3-3-1

山のグラウンドワーク

10月16日（土）参加者 149名（スタッフ含む）

【場所】 憩いの森公園内の森林

【内容】 憩いの森を水源とする酒づくりのための地下水保全を目的とした里山整備を行いました。

【取組みの展開】 1-1-1, 1-1-2, 1-1-3, 1-3-1, 3-3-1

山のグラウンドワーク

12月4日（土）参加者 67名（スタッフ含む）

【場所】 憩いの森公園内の森林

【内容】 憩いの森を水源とする酒づくりのための地下水保全を目的とした里山整備を行いました。

【取組みの展開】 1-1-1, 1-1-2, 1-1-3, 1-3-1, 3-3-1

中学校での講話

12月13日（月）参加者 203名（中学1年生＋教員）

【場所】 東広島市立西条中学校

【内容】 総合的な学習の一環で、酒づくりの水を守るための里山保全活動について講話しました。

【取組みの展開】 3-1-1



今年度はコロナ対策、安全管理、技術指導に注力。
企業や学校からの参加も増えました。

2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

- ・2022年1月下旬に「東広島市SDG s 未来都市推進パートナー」にエントリーします。
- ・2022年3月6日（日）には第95回山のグラウンドワークの開催を予定しています。
- ・機構発足から20年を迎えたため、20周年記念誌の発行を予定しています。
- ・活動の安全を担保し、里山保全の楽しさを伝えるボランティア・リーダーの育成が課題です。
- ・SDGsが提唱される遥か以前から、産官学民連携で続けられてきた里山と地下水の保全活動を、さらに発展させ、粘り強く継続していきます。

《所在地・連絡先》

〒739-0012

広島県東広島市西条朝日町6-51

TEL 082-421-8032

FAX 082-422-2668

ホームページ <http://www.kamon.ne.jp/~yamamizu/>

E-mail yamamizu@kamon.ne.jp



組織の概要

ひがしひろしま環境家族は「地球温暖化対策の推進に関する法律」に規定されている地球温暖化対策地域協議会として、日常生活における温室効果ガスの削減を目指し親と子を中心に家庭内での温暖化の抑制・防止する生活の推進を目的に誕生しました。「子や孫の世代に持続可能な地球環境を残そう！」を目標に活動しています。



2021年の主な活動

総会

6月27日（日）

前年度の事業・決算について報告を行いました。その後、海洋プラスチックによる環境影響について学習し、プラスチックフリー生活入門編として、「みつろうラップ」のワークショップを開催しました。

**エシカルLabo**

10月29日（金）

「暮らしの中の疑問をおしゃべりandみつろうラップワークショップ」と題して、コロナ禍の暮らしの中での疑問などについて、おしゃべり会を実施しました。SDGsとして、使い捨ての文化を見直す目的で、みつろうラップを作成しました。



【取組みの展開】 2-1-1, 2-2-1, 1-3-1

～JICAエコチャレンジ

めざせ！SDGsアンバサダー～



11月23日（火）

小学3～6年生を対象に「みつろうラップを作ろう」というブースの講師を務めました。SDGs目標の12番「つくる責任つかう責任」をみつろうラップを作ることで子どもたちに学んでもらいました。

まず、増え続ける使い捨てプラスチックごみやミツバチの生態や置かれている生息環境などを説明し、そのあとで実際にみつろうラップを手作りしました。子どもたちからは「家でも作ってみたい。」「アイロンをはじめて使ったよ。」などの感想が寄せられました。

他のブースでは《最新テクノロジーで異常気象に立ち向かう》《ソーラーボイラーで医療を変える》《どんなあじ？コオロギせんべい》と題した講座がありました。

4つの講座を全て受講したらSDGsアンバサダーとして認定され、この日は60名あまりの子どもたちがアンバサダーになることができました。

【取組みの展開】 2-3-1, 2-2-1, 1-1-3



《所在地・連絡先》

〒739-8601

広島県東広島市西条栄町8番29号

東広島市役所生活環境部環境先進都市推進課内

TEL 082-420-0928

E-mail higashihiroshima5@gmail.com

組織の概要

エコINNくろせは、平成18年3月に東広島市で最初の地球温暖化対策地域協議会として設立されました。環境にやさしい行動や思いが黒瀬町に宿り（INN）、次世代に良い環境を引き継ぐための活動を継続しています。

具体的には

- ①青少年育成を目的とした環境学習
- ②エコ農業のまちづくり活動
- ③地球温暖化防止呼びかけキャンペーンに取り組んでいます。



2021年の主な活動

コロナ禍の為、個人活動のもみ殻クン炭作りと感染症拡大対策を施したうえでの一部活動のみ実施しました。

環境学習・出前講座

・田植え体験	5月12日	25名
・エコクッキング (中黒瀬小1)	6月15日	中止
・稲刈り体験	9月9日	中止
・用水路見学	10月18日	13名
・エコクッキング (黒瀬高校)	1月13日	中止

【取組みの展開】 1-1-2, 3-1-1



稲作に必要な水がどのように流れてくるか？昔はどのような苦労があったか？など用水路の機能と働きを体験しました。



昔ながらの手植え体験でココノエモチを植えました。この後、稲刈り体験し、出来たモチ米で杵餅つき大会を予定しています。

炭作り

・もみ殻クン炭作り	9月～2月	8名
・竹炭アート作り (黒瀬健康福祉祭りにて)	10月25日	中止

もみ殻クン炭の効能をPRし、クン炭作りの促進を図りました。

クン炭機の貸出を行い、活動の輪を拡げていきたいと思っています。見学や実施講習もOKです。現在、久井と世羅地区とも連携推進中です。

【取組みの展開】 2-2-4, 3-3-1



講演会

・講演会（春）	3月29日	34名
・講演会（秋）	11月6日	25名
・保光川ハウマッチ (ミニ講演)	7月25日	中止



3月：地域ぐるみの食品ロス削減

【取組みの展開】 3-1-1



11月：あなたもはじめようゴミダイエット

【取組みの展開】 3-1-1



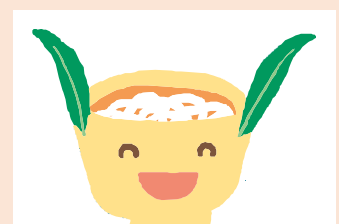
《所在地・連絡先》

〒739-2622

広島県東広島市黒瀬町乃美尾573

TEL 090-2800-0687

E-mail ekoinnkurose@gmail.com



組織の概要

各種イベント等で生き物や標本を展示する「移動博物館」を通じて、身近な自然や生き物の面白さを伝えることを目的に活動しています。2008年から活動を開始し、2011年から現在の名称になりました。「半尾川の生き物展示」、「昆虫展」などの展示活動のほか、依頼があれば自然観察会や講演なども行っています。また、学校・博物館等への資料の貸し出しにも応じています。

これまでは「生き物」に関係する活動のみでしたが、今年からは3Rなど「エコ」にかかわる展示もはじめました。

2021年の主な活動

昆虫展（展示）

7月31日（日） 見学者 213 名

【場所】小石川観光りんご園

【内容】エコネットひがしひろしま主催の「脱温暖化キャラバンIN豊栄 里山ネイチャーデイキャンプ」において、昆虫標本と生きた昆虫を展示しました。

【取組みの展開】1-1-2, 1-1-3



飲料容器の博物学（展示）

10月24日（日） 見学者 248 名

【場所】広島中央エコパーク

【内容】ひがしひろしま環境フェア 2021 広島中央エコパークオープニングイベントにおいて、ビンや缶、ペットボトルなどを展示し、3Rとの関係について解説しました。

【取組みの展開】2-1-1, 2-1-2



広島大学総合博物館第20回ふむふむ ギャラリー「生物多様性ってなに？」 への協力（資料貸出）

3月23日（火）～12月21日（火）

【場所】 広島大学総合博物館本館

【内容】 木の工芸品、豆類、外来生物
標本の貸し出しを行いました。

【取組みの展開】 1-1-1, 1-1-2, 1-1-3,
3-1-1, 3-2-1



広島大学ホームカミングデーへの協力（資料貸出）

11月6日（土）

【場所】 広島大学東広島植物園大温室

【内容】 裸子植物6種（生体）の貸し出しを行いました。

【取組みの展開】 1-1-1, 1-1-2, 1-1-3, 3-1-1, 3-2-1

2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

2022年度の計画は未定ですが、昨年に引き続き、広島大学総合博物館、東広島植物園で行われる企画展示に協力する予定です。その他の活動についても、依頼があれば、できる限り実施したいと考えています。

《所在地・連絡先》

〒739-8521

広島県東広島市鏡山1-7-1

広島大学総合科学部 中坪研究室内

TEL 082-424-6514

入会方法：現在のところ会員募集は行っていません

組織の概要

広島県全域を活動エリアとする生活協同組合ひろしまは、組合員が40万世帯（3世帯に1世帯加入）、資本金に相当する出資金が130億円になりました。

生活協同組合は、“平和とよりよき生活”のために事業活動と組合員活動を車の両輪とし、また、生産と消費の距離を短くするコーディネイターとして活動を行っています。

主な事業活動には、宅配事業、店舗事業、福祉事業、夕食宅配事業、共済事業、文化・サービス斡旋事業などで、売上高と事業収入の総計は480億円強になります。また、事業に携わる職員は2,000名を超えます。

組合員活動としては、お互いさまを基本とし、省エネや資源の有効利用等、地球に優しいくらしをはじめ、ユニセフ・福祉・助け合い、災害支援、平和、食の安全・食育、生産者との交流など、くらしに関わる幅広い活動を行っています。



生協の配達車両



店舗の地産地消コーナー

2021年の主な活動

再生可能エネルギーの導入

2021年度より東広島支所、コープ東広島店で使用する電力を「地球倶楽部」の電力に切り替えました。これにより上記施設で使用する電力をほぼ100%再生可能エネルギーとすることが出来ました。

※地球クラブは、生協の電力事業を担うために設立された、日本生協連の子会社です。再生可能エネルギーを“つくって つかって ひろげて”を目指しています。

設立の背景には、2011年3月の東日本大震災で起きた原発事故が大きく影響しています。この事故を受け、日本生協連は消費者の暮らしを守るために、原発に頼らないエネルギー政策の転換を目指してきました。その政策には、再生可能エネルギーの急速拡大も含まれています。再生可能エネルギー(FIT電気含む)の調達・供給を中心とした電力事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献することが地球クラブの大きな目的です。

【取組みの展開】 2-2-1, 2-2-2

食品ロス削減への貢献

10月1日（金）～

10月より東広島市社協に対し、東広島支所、コープ東広島でまだ食べられるのに廃棄されてしまう食材や日用品の無償提供を開始しました（西条地域）。「食糧等の提供に関する合意書」を締結し、毎月1回商品の受け渡しを行っています。フードバンクを介さず直接商品の受け渡しをするのは、市社協、コープ東広島とも初めての試みです。

10月度は、東広島支所で5Kg、コープ東広島で5Kgの提供がありました。

11月度は、東広島支所で10Kg、コープ東広島で6Kgの提供がありました。

【取組みの展開】 2-1-1

「こどもSDGs」の開催

8月20日（金）参加者 小学生約30名

「こどもコーぷらざひがしひろしま」にて小学生を対象とした「こどもSDGs」を開催しました。SDGsという言葉や内容を理解してもらうのが困難であるため、平仮名を使ったパワーポイントを作成し、【温暖化（CO₂）】【（マイクロ）プラスチック】【食品ロス】【（安全な）水の問題】にテーマを絞って開催しました。「無駄な電気を消そう」「ごみの分別・ポイ捨てしない」「無駄な買い物をしない」「水を大切に」「整理整頓」など、みんなの普段の行動はどうか、日常生活を見直すような内容としました。

当日の終礼にて、今後みんなはどうしていくかなどを発表してもらい、翌日からほんの少しながらも行動の変化が見られたとのことでした。

【取組みの展開】 3-1-1, 3-2-1, 3-3-1



生活困窮者支援活動がプレスネットに掲載されました。

「こどもコーぷらざひがしひろしま」で開催された「こどもSDGs」

国営地域福祉推進員2人、坂本市長は地域包括ケアの推進に力を入れている。生活困窮者支援活動がプレスネットに掲載されました。生活困窮者支援活動がプレスネットに掲載されました。生活困窮者支援活動がプレスネットに掲載されました。

2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

- 食品廃棄物削減を目指しながらもロスが発生した場合、フードバンクへの提供を継続します。
- こどもコープらぎひがしひろしまにて、環境等の学習会の開催を予定しています。

《所在地・連絡先》

〒739-0441

広島県廿日市市大野原1-2-10

TEL 0829-50-0350

ホームページ <https://www.hiroshima.coop/>

E-mail hcoop@mail.Hiroshima.coop



組織の概要

本会は、環境教育プログラムであるシェアリングネイチャー活動を普及・実践する団体です。日本シェアリングネイチャー協会に属する組織で、広島県内には広島県シェアリングネイチャー協会がおかれ、県内5ブロックに分かれているなかの1ブロックを担っています。全国には数千人規模のリーダー登録者がいますが、実際に定期的活動をしている者は少なく、本会の場合、実働しているのは数人です。

活動は、ネイチャーゲームというアクティビティを通じて、自然を体感し、共感する気持ちを持ち、また、自然を大切にする行動をとる人の輪を拡げていくことを目的としています。

東広島市内での活動は、5月と10月に広島大学総合博物館のフィールドナビとして、ネイチャーゲームを通じた自然体験を行っています。6月のひろしま山の日では、東広島会場である龍王山で、ネイチャーゲームのプログラムを提供しています。その他に、要請があれば、小学校や幼稚園・保育園などで指導を行うこともあります。この10数年はほぼ同じような活動を続けてきています。マンパワー的にこの活動を拡張するのは難しいのが実際です。

2021年の主な活動

広島大学デジタルミュージアムの動画コンテンツ作成

撮影は2021年2月，広島大学東広島キャンパス内

2021年4月よりYouTubeで視聴可能

ネイチャーゲーム「森の美術館」：

<https://www.youtube.com/watch?v=pkXFgY9uKWY>

ネイチャーゲーム「フィールドビンゴ」：

https://www.youtube.com/watch?v=Aw0l9O_6yK4

【取組みの展開】1-1-2, 3-1-1

広島大学

池の上学生宿舎新入生歓迎イベントでのネイチャーゲーム指導

4月29日（木・祝）参加者 14名

【取組みの展開】 1-1-2, 3-1-1

ひろしま山の日・東広島会場2021

8月8日（日）

今回は、これまでのメイン行事である山の手入れは行わないことになり、みどりの少年団の活動を中心にして、子どもたちの体験と里山管理について知る機会にすることになりました。森のネイチャーゲームとしては、9時から10時半まで緑の少年団約60人の活動、10時半から11時半まで一般の来場者3組10人との活動を行いました。プログラムは、わらしべウォーク、きこりの親方フィールドビンゴを行いました。

【取組みの展開】 1-1-1, 1-1-2, 1-3-2, 3-1-1

2021秋の会（全国一斉シェアリングネイチャーの日）

10月16日（土）参加者 23名

広島大学総合博物館との共催（フィールドナビ）。人数を抑えて、人との接触の少ないプログラムということで、ノーズ、フィールドビンゴ、ミクロハイクを行いました。

【取組みの展開】 1-1-2, 2-3-1, 3-1-1



<10月16日の秋の会>

2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

5月：春の会（広島大学総合博物館と共催）

6月：ひろしま山の日・東広島会場2022

10月：秋の会（広島大学総合博物館と共催）

《所在地・連絡先》

〒739-8521

広島県東広島市鏡山1-7-1

広島大学人間社会科学研究科（総合科学部）浅野敏久

TEL 082-424-6364

ホームページ

日本シェアリングネイチャー協会ホームページ

<https://www.naturegame.or.jp/>

広島県シェアリングネイチャー協会ホームページ

https://www.naturegame.or.jp/about_us/group/hiroshima/000996.html

入会方法：上記ホームページ参照。指導員の資格取得が必要です。

会費：呉・東広島の会は1000円/年（ただし日本シェアリングネイチャー協会の会費は別）

組織の概要

当社では、住宅の施工と販売・住宅団地の造成と販売・賃貸住宅の施工販売と管理、またリフォーム事業や介護保険事業・サービス付き高齢者向け住宅事業など事業の多角化を図っております。企業理念に「住まいづくりを通して地域社会に貢献します。」を掲げ、地元である広島に貢献していきたいと思っております。

■ ワンストップ型サービスのご提供

地域の皆さまが住まいを建て、ずっと暮らしてゆく上でのサポートを一貫してお手伝いするため、私たちは注文住宅、土地有効活用のお手伝い・不動産売買事業、メンテナンスサービスを展開し、三位一体のワンストップ型サービスを提供致します。

■ 地域ファーストコールビルダー

「建ててからが本当のお付き合い」という考えのもと、本当の意味の地域密着企業を目指し、アフターサポートはもちろん、住まいに関することなら日興ホームに聞いてみよう！と思って頂けるような「地域ファーストコールビルダー」を目指してこれからも邁進して行きます。



2021年の主な活動

SDGsの取組み

当社では、これまで取り組んできた社会課題を解消しながら新たなビジネスモデル形成を図り、発展を目指していく活動を整理するとともに、世界全体の開発目標であるSDGsとも連動させた目標設定を行い、社会に向けて宣言いたします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



アップサイクル活動

建築廃材のブルーシートを再利用したバッグを「工房こどもノカ」の吉田奈緒子様に製作を依頼し、ご契約者様との打合せ資料バッグとして提供させて頂きました。

ブルーシートバッグ製作のきっかけ

住宅建築時に発生する建築廃材や端材のごみの削減が当社の課題の1つでありました。その中でも1棟ごとに使用していたブルーシートを有効活用することが廃棄削減につながると考えました。

取組みの効果

お客様の中にはブルーシートを再活用する取組みをご存じの方も多く、この活動に対して、非常に共感していただきました。SDGsを掲げている当社にとって、建築廃材を削減できることは地域社会や環境面にも貢献できる取り組みとして効果がありました。

【取組みの展開】 2-1-1



2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

- ・引き続き、建築廃材のブルーシートのアップサイクル活動を進めていきます。また、2022年はブルーシートでコンポスト用のバッグを作成して頂き、コンポストの意義や土づくりの方法などの講座を行い、コンポストの普及を図っていきます。
- ・ブルーシートに限らず出てくる端材を地域の活動やイベント、保育園、幼稚園、小学校での図工や創造活動に活用していただきたいと思います。



生ごみから堆肥を作るコンポスト



端材で図工や創作活動



《所在地・連絡先》

〒739-0041

広島県東広島市西条町寺家3847-2

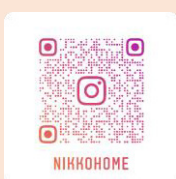
TEL 082-421-0055 FAX 082-421-0133

 0120-250-236

ホームページ <https://www.nikko-home.com/>



ホームページ



Instagram



youtube



LINE

組織の概要

【かやぶき古民家再生プロジェクト】

古来より長い時間をかけて、先人によって培われてきた我が国独特の建築様式である『茅葺き民家』は、その防火性能の弱さや職人の減少、住民の価値観、ライフスタイルの変化などにより、全国的に消滅し続けています。残されている民家も、その多くはトタンや瓦で覆われ、茅の表情を残している民家は希少です。こうした中、東広島市には茅が露出している民家がまだ多く現存しています。しかしながら、市民の茅葺き民家の価値に対する意識は決して高いとはいえ、他の地域と同様に減少の一途をたどっているのが現状です。本プロジェクトは、学生が主体となって、地域住民、茅葺き職人らと連携を図りながら、現存する茅葺き民家の保存・再生に向けた活動を行うものです。

2021年の主な活動

ユネスコ無形文化遺産「伝統建築工匠」 茅刈り（茅採取）ワークショップ

【日時】 12月11日（土）10：00-15：00

【場所】 東広島市志和町志和堀

【参加者】 約60名

【共同主催】 かやぶき屋根のちいさな図書室“ほたる荘”

地域活動団体 縁もゆかりも

Earth Building・広島茅葺屋根工事店

【内容】 茅葺き民家の屋根の材料となる「茅場」をつくるための「茅刈り（茅採取）」体験ワークショップを行った。

【取組みの展開】 1-1-1, 1-2-2, 2-2-1



2021年の活動の写真



2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

2022年も茅刈り（茅採取）ワークショップを実施しますが、場所は志和町別府に移す予定です。

≪所在地・連絡先≫

〒739-2216

広島県東広島市高屋うめの辺1

近畿大学工学部建築学科建築計画研究室

TEL 082-434-7384

ホームページ

<https://archi.hiro.kindai.ac.jp/laboratory/APL/kominka.html>

組織の概要

広島大学総合博物館は、キャンパスをまるごと展示するエコ・ミュージアムです。キャンパスには、化石やはく製を常設展示する博物館本館のほか、キャンパスから出土した土器や石器などの埋蔵文化財や学部の特徴ある研究を紹介する「サテライト館」、さらにキャンパスを探索し、様々な動植物と出会える自然散策道「発見の小径」があります。開館（2006年）以来、キャンパスの豊かな自然を利用したフィールドナビ（野外観察会）を79回（2021年12月時点）開催してきました。様々な自然を使ったネイチャーゲームや植物や生き物の観察会を行い、園児から大人までたくさんの方々に参加していただいています。また、博物館本館では、幼稚園、小・中・高・大学生、一般、外国人、障がい者など年間約200件の団体利用があります。スタッフや学生による展示解説は大変好評です。是非、一度お越しください。

2021年の主な活動

第20回ふむふむギャラリー「生物多様性ってなに？見て！知って！考える！」

3月23日（火）～12月21日（火） 来場者 2,831名

【場所】広島大学総合博物館 本館

【内容】当館学生スタッフ（HUMs）のメンバーが企画・作成した展示を開催しました。生物多様性に関して、「生物多様性とは？」「生物多様性と人との関わり」「絶滅の危機にある生物」「大学での研究紹介」という4つのテーマを軸に、学生たちが自らも学びながら、一般の方にわかりやすく紹介してくれました。年末には2度のギャラリートークも行うなど、展示だけでなく解説や普及活動にも取り組みました。

【取組みの展開】1-1-1, 1-1-2, 1-1-3, 3-1-1, 3-2-1

第78回フィールドナビ「ネイチャーゲームで遊ぼう！！秋編」

10月16日（土） 参加者 23名

【場所】 広島大学東広島キャンパス

【内容】 毎年春と秋に行っているフィールドナビで、今回も日本シェアリングネイチャー協会の方々に講師を務めていただきました。来場者には広島大学東広島キャンパス内の自然を体感しながら、いろいろな遊びやゲームにチャレンジしてもらいました。

【取組みの展開】 1-1-1, 1-1-2, 3-1-1, 3-2-1

第21回ふむふむギャラリー『広島高等工業学校と廣瀬酒造場－「寄せ書き日の丸」のモノ語りー』

11月6日（土）～2021年12月21日（火） 来場者 619名

【場所】 広島大学総合博物館 本館

【内容】 2020年に当館へ寄贈された前身校の卒業生が出征時に教員等から送られた「寄せ書き日の丸」にまつわる展示を行いました。日の丸を贈られた廣瀬壽一さんは、福岡県の酒造場の跡取りでしたが、戦死し酒蔵は廃業となりました。戦争や前身校にまつわる話のほか、酒造りでの福岡と西条のつながりに関する展示も行いました。合わせてギャラリートークも行い、今ある平和の尊さと恒久平和の願いを発信しました。

【取組みの展開】 1-2-2

第79回フィールドナビ「こけ観察会」

11月20日（土） 参加者 13名

【場所】 広島大学東広島キャンパス

【内容】 当館学生ボランティアである、キャンパススチューデントレンジャー（CSR）のメンバーが企画・実施してくれました。普段目に付くけど意識していないことの多い「コケ」や「地衣類」について、学生たちが小学生向けにわかりやすく紹介し、実際に野外で観察を行いました。また最後にはレジンを用いたコケのメダルづくりにも挑戦しました。

【取組みの展開】 1-1-1, 1-1-2, 3-1-1, 3-2-1

≪新型コロナウイルスの影響により中止した活動≫

・5月15日（土） 第77回フィールドナビ「ネイチャーゲームで遊ぼう！！春編」

2021年の活動の写真



2022年に予定している活動又は今後の活動予定・方針

2022年も、年初から新型コロナウイルス感染症の拡大により休館を余儀なくされています。しかしコロナ禍の中でもオンラインや動画等を駆使することで、子供からお年寄りまで、生涯にわたる学習の機会を提供していきたいと考えています。開館が再開できた際には、感染対策を徹底のうえ、対面での展示解説や団体受け入れも積極的に行っていきたいと思っています。



《所在地・連絡先》

〒739-8524

広島県東広島市鏡山1-1-1

TEL 082-424-4212

ホームページ

<https://www.digitalmuseum.hiroshima-u.ac.jp/~humuseum/>

Twitter https://twitter.com/hirog_humuseum